

解答例

問1 エシカル消費とは、どのような行動を意味し、その究極的な目的は何か。講義内容をもとにして、40字～80字で説明しなさい。(10点)

(解答例) エシカル消費とは、資源・環境や人権・社会に配慮した倫理的な消費行動を意味し、持続可能な世界の実現を究極的な目的とする。(59文字)

(ポイント) 模擬講義のなかで解説された専門用語を正しく理解し、適切に要約できるか?

問2 講義のなかで、消費者がエコラベル制度のもとでエシカル消費をおこなうことによって市場経済を介して社会課題の解決を図る方法が説明された。その方法は、有権者が選挙制度のもとで一人一票の投票によって民意を表明し政治や政策に働きかける方法と比べて、どのようなデメリットを持ちうると考えられるか。講義内容を踏まえて、100字～140字で述べなさい。(10点)

(解答例) エシカル消費では、一人一票の投票とは異なり、購買力の大きな高所得者や経済大国の意向が大きく反映されてしまうことから、どのような倫理的問題をどの程度優先するのかに関する影響力について個人や国の間に所得による格差が生じてしまう懸念があると考えられる。(123字)

(ポイント) 模擬講義のなかで口頭のみで説明された内容について聞き逃さず、要点を把握できているか?

問3 参考図表1において、漁獲量の8割を占める魚種の数に4つの国でどのように異なっているか。また、講義内容を踏まえると、その理由はなぜだと考えられるか。160字～200字で述べなさい。(15点)

(解答例) 漁獲量の8割を占める魚種数は、北緯が相対的に高いアイスランドとノルウェーで少なく、相対的に低い日本と韓国で多い傾向が見られる。その理由は、太陽光、海流、陸域からの栄養(塩)等による複合的な要因によって、海洋の生物多様性が北極や南極に近いほど低く赤道に近いほど高い傾向があることから、それに応じて各国で漁獲される魚種の数も緯度により違いが見られると考えられる。(180字)

(ポイント) 図表の意味を正しく読み取り、模擬講義の内容と関連付けて理解することができるか。

問4 世界各国の漁業に対して同一の水産物エコラベル制度の漁業認証を適用することで生じると考えられる問題とその解決の方法について、200字～300字で論じなさい。ただし、次のキーワードのうち、少なくとも3つを用いること。(15点)

キーワード：生物多様性、北欧、東南アジア、途上国、格差、ジレンマ、制度

(解答例) 海洋の生物多様性は、世界の海域で一様ではなく偏りが存在する。そのため、漁獲される魚種(の数)も世界各国で必ずしも同じではない。そのように多様な自然条件

のもとで営まれる各国の漁業に対して、同一の水産物エコラベル制度の漁業認証を適用することは、認証取得に要する費用や労力の面で有利な国や不利な国を生じさせ、不公平な結果につながる可能性がある。多様に分布する自然と標準化による利便性の向上が求められる制度の間のジレンマを解決していくために、理系と文系の知識を総合した学際的な研究の推進が必要ではないだろうか。(251 字)

(ポイント) 提示されたキーワードをヒントに発展的な考察を導くことができるか？

以上